

第5回 総合計画審議会

第2回 和束町まち・ひと・しごと創生推進会議

の意見を踏まえた計画書変更箇所抜粋

- 国際的な視野を身につけられるよう外国語指導助手（ALT）の活用を図ります。（※広域連合事業）

## 施策の方針2 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上

---

- 児童生徒の健全育成をめざしながら、いじめの未然防止と不登校児童生徒への組織的・計画的な支援に努めます。（※広域連合事業）
- ◎ 恵まれた自然や地域の産業、伝統文化、人材等を積極的に活用した相楽東部（広域連合）ならではの魅力ある学校づくりを進めます。（※広域連合事業）【3-2-2】
- 「部落差別の解消の推進に関する法律」「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ対策法」等差別のない社会の実現を目指す法律を踏まえた人権学習の充実を図っていきます。（※広域連合事業）
- 児童生徒の体力向上の取組や健康増進に関する教育と食育の充実を図っていきます。（※広域連合事業）

## 施策の方針3 住民の信頼を高める学校づくり

---

- ◎ 学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」と「地域学校協働活動」の導入による学社連携の充実を図っていきます。（※広域連合事業）【3-2-5】
- 研修機会の充実による教員一人ひとりの「教師力」の向上と教職員と児童生徒と向き合う時間の確保に努めます。（※広域連合事業）

## 施策の方針4 学校を取り巻く環境づくり

---

- 老朽化した学校施設・設備の整備の改修を進めていきます。（※広域連合事業）
- 「相楽東部広域連合通学路交通安全プログラム」に基づいた通学路の安全確保の推進を図っていきます。（※広域連合事業）
- グラウンド等の学校施設・設備を地域住民等に開放します。（※広域連合事業）

### 【住民の声】

- 小さいまちだからこそできる“ユニークな子ども教育のまち”にすべき
- 教育委員会が広域連合なので、広域での取組事業があることが特徴である

### 施策の方針3 林業活性化への支援

○ 林業に携わっている関係機関・団体から専門的な技術や知見の指導を得ながら、ボランティアの育成に努め、林業の活性化につながる取組を進めます。

○ 次世代を担う青少年をはじめ広く、森林の大切さを認識してもらうための契機づくりとなる普及啓発活動に関係機関・団体が連携して取組み、緑化意識の高揚・森林の利用促進に努めます。

○ 間伐材の加工品等への有効活用について、各種セミナーの開催やイベント等を通じた普及活動に努めます。

#### 【住民の声】

○ 自然環境のすばらしさがまちの財産である



#### コラム

森林は、地球温暖化の上からも重要な役割を担うとともに、山で生まれ水が川を経て、海の豊かな環境を守ることにもつながっています。

<鷲峰山>



(町ホームページより)

### 施策の方針3 不法投棄防止対策の強化

---

- 犬打峠トンネルの開通により、特に利用者数の減少が見込まれる犬打峠宇治木屋線の不法投棄に対するパトロール体制の強化等により不法投棄防止に努めます。
- 住民やボランティア活動による河川的环境美化運動を支援します。

### 施策の方針4 低炭素化の推進

---

- 2050年までの温室効果ガス排出ゼロを踏まえ、温室効果ガス排出量の削減、脱炭素社会実現に向けた取組を支援します。
- 廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化を推進し、ごみを出さないライフスタイル及び省エネルギー推進の啓発に努めます。

### 施策の方針5 環境にやさしい生活の実践

---

- 環境に対する住民、行政、事業者の共通指針として、「環境基本計画」の策定に取り組みます。
- 学校教育、公民館活動等、あらゆる機会を捉えた、環境にやさしい生活のあり方について学ぶ場や機会づくりに努めます。

#### 【住民の声】

- ごみを家庭で焼くことは色々問題を引き起こしており、自己管理の徹底を望む

#### 主な関連計画

第9期和東町分別収集計画(令和元年)

## 数値目標

目標指標 (K P I)	現状値 (2019 年度)	目標値 (2025 年度)	紐づけられる (基本施策)
子ども見守り隊活動を実施する地区数	15 地区	15 地区	基本施策 1 防災・防犯体制の充実
公共下水道への接続	74%	80%	基本施策 2 河川
<u>森林環境等の学習会参加者数</u>	<u>—</u>	<u>50 人</u>	<u>基本施策 4</u> <u>森林保全</u>
ごみの年間排出量の減量	137 t	140 t	基本施策 5 環境共生の生活
低公害車の導入	18 台	25 台	基本施策 5 環境共生の生活



## 基本施策1 農林業の振興

【担当課】 農村振興課 地域力推進課

### 〔現状と課題〕

- ◇ 農林業は、産業面のみならず茶畑景観を創るとともに、自然環境保全の面からも重要なものとなっています。
- ◇ 和束町では茶業が地域の基幹産業であり、生産基盤の強化とともに、遊休農地を活用した有機栽培やハーブ栽培といった新たな取組や、販売促進・PRのための和束茶カフェの整備、さらには担い手育成や、お茶の製茶加工場の整備等に対する支援を行ってきました。また、茶畑の景観は京都府の文化的景観資産登録第1号であり、文化庁の「日本遺産」にも登録され、産業面のみならず本町の魅力を象徴するものとなっています。
- ◇ しかしながら、後継者不足は深刻化し農地の荒廃もみられ、近い将来には、現状を維持することが困難な状況がくることが懸念されています。
- ◇ 今後は、茶業としてだけではなく、茶業×αとしての展開を他産業と絡めた中で展開していく必要があります。

### 目指す目標像

“茶源郷・和束”を象徴するものとして、茶業としての生産・加工・販売の体制を強化し、和束茶のブランドを確立するとともに、『お茶×観光・交流』の展開により、地域産業としての活性化を目指します。

### 施策の方針1 生産基盤強化への支援

- ◎ 茶産地としての生産規模と茶畑の保全を目指すため、遊休農地の活用や耕作放棄地の発生防止、農作業受委託方式の促進、機械化に対応した基盤整備に対する支援等の強化を行います。  
【1-2-3・1-2-4】
- 茶畑以外の農地についても農地保全の観点から、農作業受委託方式や生産基盤の整備を促進します。
- 有機栽培の取組など、こだわりのある付加価値向上のための取組への支援を強化します。
- 農産物加工施設の整備等による新たな雇用の場づくりを推進します。
- ◎ 鳥獣被害対策として防護柵等の設置、緩衝帯の整備や、猟友会等との連携による追払いや被害防止捕獲を推進し、被害防止に向け総合的な対策を支援します。【4-3-4】
- ◎ スマート農業を促進し、農作業の省力化や技術の促進を支援します。【1-2-3】

## 基本施策 1 移住・定住促進と快適な住環境の整備

【担当課】 総務課 建設事業課 地域力推進課

### 〔現状と課題〕

- ◇ 人口減少を抑制するために、移住の推進や転出を抑制する定住施策を検討する必要があります。
- ◇ 和東町では、公営住宅の整備や空き家バンク制度の構築、サテライトオフィスの設置など、移住・定住を促進する施策を進めてきました。
- ◇ しかしながら、人口減少に歯止めがかからず、減少を抑制する新たな対策を講じることが求められています。
- ◇ 今後は（仮称）犬打峠トンネルの開通に伴う人口流動を見据えつつ、移住・定住対策による受け皿づくりの整備を促進していく必要があります。

### 目指す目標像

自然環境やゆとりある居住空間を活かした住環境の整備を促進し、住みたい、住み続けたい、帰ってきたいまちを目指します。

### 施策の方針 1 住環境の整備・充実

- 地域の特性を活かした住まいづくりの展開を見据え、民間住宅の適切な誘導を促進します。
- 若者から高齢者までが、それぞれのライフスタイルに応じた入居しやすい町営住宅を長寿命化計画に基づいて継続します。
- ◎ 空き家バンク制度を有効に活用するためのニーズの把握や情報提供を強化するとともに、新たな空き家バンク登録を促進します。また、農繁期における季節労働者や一時的な雇用者向けの居住スペースとして、公共施設や空き家の活用を図ります。【1-1-2】 【2-2-4】
- 環境に配慮した省エネルギーの高断熱・高耐久性住宅の整備による良質な住宅づくりを推進します。

### 施策の方針 2 移住・定住への支援

- ◎ 移住・定住を促進するため、空き家の活用（改修）や、相談窓口の充実、各種補助制度のPR等の強化に努めます。【2-2-1・2-2-3】
- ◎ 都市住民の週末居住を促進するための、広報活動に努めます。【2-1-12】
- ◎ 空き家等を利用したさらなるサテライトオフィスの整備を検討します。【2-2-2】

# 基本目標 1 茶を軸とした働く場を創る

## 目標

茶源郷和束の誇る茶業・茶畑景観をはじめとする農村文化を活かして、健康、教育、観光等と連動した新たなビジネスモデルを創出し、若者にとってやりがいのある雇用の場づくりを進めます

### <重要目標達成指標>

#### ◇荒茶生産額

年間 24.7 (令和元年：2019年) → 年間 30 億円 (令和7年：2025年)

#### ◇雇用創出数

累計 33 人 (令和元年：2019年) → 累計 95 人 (令和7年：2025年)

## 基本的方向 1 町内外の若者が茶に携わることのできる環境づくり

○援農の取組、農業体験の受入、農村民泊など、これまでの取組の継続を推進し、町内外の若者が茶に携わることのできる環境づくりをするとともに、茶産業+ONE（茶業を補填する新しい農業分野）の枠組みを確立し、年間を通じて働ける基盤整備により、UIJ ターンの受け皿づくりと雇用の創出に取り組みます。

## 重要業績評価指標

指標名	単位	基準値 (2019年)	目標値 (2025年)
援農数	人日	908	1,250
新規就農者数	人	4	5

番号	具体的な事業	担当課
1	農業次世代人材投資資金給付事業 新規就農者への給付金年間 150 万円を給付する。	農村振興課
2	援農者支援と移住・定住促進事業 農繁期における援農支援体制の構築を図る <b>とともに、茶農家が援農者向けに確保する空き家の利活用を促進するため、関係団体と連携した支援体制を構築する。</b>	農村振興課 地域力推進課



番号	具体的な事業	担当課
3	<b>地域雇用創出・人材確保支援事業</b> 地域における雇用創出の拡大に向けて、農家や事業者が年間を通じて安定して人材が確保できるように、国、府、相模東部地域と連携し、新たな体制の構築に向けて取り組む。	農村振興課

## 基本的方向2 茶産業の充実・強化と新たな商品開発

○産官学の連携により、茶などの地場製品を活かした商品開発、現在の流通小売に耐えうる生産・加工・販売の仕組みを再構築するとともに、新たな設備投資への支援にも継続的に取り組みます。さらに、和東茶のブランディングを目指す企業の設立を支援し、また多様なニーズに応じた商品開発にも引き続き取り組みます。

### 重要業績評価指標

指標名	単位	基準値 (2019年)	目標値 (2025年)
海外販路開拓成約件数	件	0	3
地場製品を活かした商品開発数（累計）	件	47	77

番号	具体的な事業	担当課
1	<b>和東茶ブランド化・新商品開発事業</b> 「和東茶」をブランディングし、知名度向上を目的に首都圏等の商談会や海外への販路拡大に向けた活動などを支援する。	地域力推進課 農村振興課
2	<b>茶源郷和東にぎわい創出プロジェクト事業</b> 茶産業に次ぐ新たな農作物を利用した新商品開発を行う。	農村振興課
3	<b>茶業振興対策事業</b> 後継者の育成や業務の省力化等に対する支援を行う。	
4	<b>茶業担い手確保支援事業</b> 後継者の不在や人手不足等による耕作放棄地の拡大等により、お茶産業が衰退するのを防ぐため、関係団体と連携した新規就農者の農地確保や家族経営者の人手確保を支援する制度の構築を行う。	

## 基本的方向3 新たな雇用の創出

○和東茶のブランディングを目指す企業の設立により新たな雇用を創出するとともに、農業の6次産業化の担い手として地域商工業者やUIJターン希望者が参画できるよう人材育成と伴走支援を行い、商工業の活性化、新たな雇用創出につなげる。

## 業績評価指標

指標名	単位	基準値 (2019年)	目標値 (2025年)
和東茶のブランディング企業の新規設立数	社	—	2

番号	具体的な事業	担当課
1	和東茶のブランディング企業の設立支援 和東茶の生産から流通までを一体的に行う企業の設立を支援する。	地域力推進課
2	茶源郷和東6次産業化による雇用創出支援事業 農業の6次産業化を目指し、地域事業者やUIJターン希望者の就農等に関する相談やセミナーの開催、マッチング機会を創出するなど、新たな雇用創出を支援する。	農村振興課

## 基本的方向4 (仮称) 犬打峠トンネル開通に伴う茶源郷和東まちづくりプロジェクト

- (仮称) 犬打峠トンネル開通による流通・観光・商業サービス等の需要発生を、町内全域で受け入れ可能とする環境を整備するため、土地利用のあり方や新たなビジネスチャンス进行调查研究し、**地元企業の活動促進や町の魅力を活かした企業誘致を進めるなどにより、新たな事業創出に取り組みます。**実現に向けて戦略的に取り組むプロジェクトチームを創設します。**また、地域の住民、事業者、関係団体、さらに近隣市町村とも連携する事業推進体制を構築し、トンネル開通までの環境整備を目指し、スピード感を持って取り組みます。**

## 業績評価指標

指標名	単位	基準値 (2019年)	目標値 (2025年)
新規企業誘致件数	社	0	2

番号	具体的な事業	担当課
1	<b>企業の誘致やポテンシャルを活かした事業の創出</b> <b>和の郷・知の郷・茶源郷和東まちづくり推進事業</b> (仮称) 犬打峠トンネルの開通に合わせて、 <b>ポストコロナ社会におけるまちづくりの在り方を踏まえつつ、近郊都市からの誘客を人口流入を促進するため、地域の住民、事業者、関係団体等と協働し、近隣市町村とも連携した町の魅力を活かす</b> 事業を創出する。	全課

## 基本目標2 交流人口を増やし定住につなげる

### 目標

住民・行政が一体となった茶源郷和束の魅力的な資源の掘り起こしとネットワーク化、その効果的な活用・PRの推進を目指します。同時に空き家の活用等住宅供給を進め、交流人口の増大、和束ファンの獲得とともに、定住の促進を図ります。

#### <重要目標達成指標>

##### ◇ずっと住みたい住民の割合

53.4%（令和2年：2020年） → 70%（令和7年：2025年）

##### ◇交流人口

170,429人（令和元年：2019年） → 300,000人（令和7年：2025年）

##### ◇社会増減

－ 36人（令和元年：2019年） → － 18人（令和7年：2025年）

#### 基本的方向1 多彩な農村文化体験の場づくりで交流人口と和束ファンを増やす

○茶摘み体験や農村民泊など、さまざまな農村里山文化体験の場を創出し、さらに和束町への訪問者数を増やすため、町内外の人が和束町のまちづくりについて話合う拠点環境づくりとその運営を支援します。

○和束町及び京都府と星野リゾートの3者で締結したパートナーシップ協定に基づく取組推進や、新たに取り組む「川まちづくり」など、和束町の魅力を満喫できる場づくりや観光資源化を促進し、茶源郷まつり、自転車振興等の交流事業を発展的に継続し、「和束ファン」の獲得に向けて引き続き取り組みます。

○京都府で推進する「お茶の京都」エリア構想と連動した観光振興にも取り組み、観光人口の増加を図ります。

#### 重要業績評価指標

指標名	単位	基準値 (2019年)	目標値 (2025年)
ふるさと納税寄付件数（基準値2020年度）	件	54	100
ツアー入込客数	人	10,144	12,000
縁側カフェ集客数	人	1,725	1,800
湯船マウンテンバイク利用者数	人	1,365	1,500
町内宿泊者数（延べ）	人	6,556	8,000

番号	具体的な事業	担当課
15	茶源郷・和東 PR 大使による広報活動の強化 PR 大使による和東町の広報活動の強化を図る。	地域力推進課
16	京都やましろ地域と東京しぶやとの連携事業 やましろ地域（12 市町村）が連携した東京への茶文化発信を行う。	総務課 地域力推進課
17	川まちづくりプロジェクト 木津川の木屋地区「木屋浜」において、親水護岸や高水敷広場を整備し、水辺のアクティビティを推進するほか、地元特産品等の販売、イベント等による観光振興の促進を図る。	建設事業課
18	茶源郷・オープンエアミュージアム構想の立案 京都府等とのパートナーシップ協定や民間企業等と連携を進めながら、お茶文化等をメインにして和東町全体を博物館に見立てた観光のまちづくりを進めるため、地域ぐるみでの観光地づくりビジョンを策定する。	総務課 地域力推進課

## 基本的方向 2 移住・定住の促進

○規制緩和を含めた農業委員会等関係機関との連携により、空き家の活用等住宅供給の促進を図り、美しい茶畑景観と自然のなかで暮らしたい方への和東町への移住・定住を促進します。さらにテレワークの需要拡大を受けて在宅で仕事ができるテレワークの環境づくりを推進します。

### 重要業績評価指標

指標名	単位	基準値 (2019 年)	目標値 (2025 年)
空き家への転入世帯数(延べ世帯数)	世帯	2	14
移住相談件数(延べ件数)	件	31	211
テレワークオフィス利用者数で町内に居住する人数	人	0	10

番号	具体的な事業	担当課
1	移住・定住促進事業 移住希望者に対する相談や和東町活性化センターと連携した空き家の掘り起こし、改修費用の補助等を行う。	地域力推進課
2	スマートワーク・イン・レジデンス事業 企業のお試しサテライトオフィスやコワーキングスペースの利用を促進する。	
3	子育て・三世代同居等応援住宅総合支援事業 移住・定住を促進するため、若い世帯の住宅購入・賃借に係る費用や、多子・多世代世帯が住宅をリフォームするため費用を支援する。	
4	空き家活用促進事業 京都府宅地建物取引業協会と提携した空き家活用の促進や、空き家の取引に専門人材が介入する空き家対策プラットフォームの構築等に向けて取り組みを進めます。	

## 基本的方向2 “和東町だからできる” “和東町ならではの” の教育の一層の推進

○地域の自然や人材、組織、小規模校の特性等を活かした魅力ある教育活動の展開、ふるさと学習、小中学校英語指導の充実など、幼小中連携の一層の推進に取り組みます。(保育園でも小学校からの英語学習に子ども達が速やかに適応できるように、英会話講師を雇用して日常から英語に親しむ環境づくりに取り組みます。) また、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な取組を進めます。

### 重要業績評価指標

指標名	単位	基準値 (2019年)	目標値 (2025年)
漢字検定（3級以上の合格率）	%	15	30
英語検定（3級以上の合格率）	%	19	30
お茶の時間の授業回数	回/月	2	2
ふるさと歴史講座の開催回数	回	4	4

番号	具体的な事業	担当課
1	<b>漢字検定、英語検定への支援</b> 全学年に合格に向けて勉強に取り組み、明確な目標を持つことで、成功体験を得るモチベーションを上げ、学力向上へ繋げる取り組みを実施する。	相楽東部広域 連合教育委員会 学校教育課
2	<b>心を潤すお茶の時間事業</b> 「お茶」を急須で淹れて味わう活動を通して、和東町の茶業・茶文化を学び、ふるさとを誇りに思う児童生徒を育成する。	
3	<b>ふるさと歴史講座の充実</b> 和東町の歴史文化を次代に継承していけるよう、学習する機会の充実を図る。	相楽東部広域 連合教育委員会 生涯学習課
4	<b>異文化交流事業</b> 和東で子育てをする魅力として、国際感覚を身につけることができるよう、和東保育園において英会話講師を雇用する。	福祉課 保育園
5	<b>社会の担い手として生きる力をはぐくむキャリア教育</b> 高校や大学との連携により近い将来像を描き、学習意欲を高めるとともに、地域の企業や団体、家庭との学社連携の充実を図り、望ましい職業観や勤労観を身に付け、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を小・中一貫して育成し、社会に参画するための基盤となる力を醸成する。	相楽東部広域 連合教育委員会 学校教育課